

整備が進んでいます！

## 駅舎

各駅によって異なるデザインが施された駅舎は、地域の雰囲気を個性豊かに表現し、まちの玄関口として新たな魅力を創出します。



▲国際センター駅。観光施設やコンベンション施設の玄関口として、日本各地や海外からのお客さまをお迎えします



▲外装工事がほぼ完了した六丁の目駅東1出入口。県道23号仙台塩釜線（産業道路）の北側に設置されています



▲八木山動物公園駅のコンコースは、空をイメージした青色が印象的なデザインに。改札口を出ると、動物公園の動物たちがパネルでお出迎えます



▲荒井駅1階コンコース。木目調パネルの間に照明を配置し、居久根の木々の下を歩くイメージを演出。エレベーターはガラス張りで、空間に広がりや奥行きを感じさせます

一足先に内部をご紹介します！

## 車両

コンパクトな車体ながら快適性を追求した東西線。ドアの開閉の際には、ランプの点滅やチャイムでお知らせする等、バリアフリーにも配慮しています。



▲ドア付近の液晶モニターは、停車駅を英語・中国語・韓国語でも案内します。到着駅のエレベーターやエスカレーターの位置も簡易図で表示され、駅構内の移動も便利に



▲車いすやベビーカーの設置スペースを全車両に完備。車いすの固定ベルトや、障害者団体の意見等を取り入れて設置した縦手すりにより、安心・安全にお乗りいただけます

この特集に関するお問い合わせは、交通局東西線建設本部管理課 ☎712・8359

昨年11月30日に開催された、東西線の線路を歩くトンネルウォーク



周辺で新しいまちづくりが進む荒井駅。2階には子育て支援施設や市民利用施設の整備も進められています



# いよいよカウントダウン！ 地下鉄東西線12月6日開業へ

平成27年12月6日の開業を目指す地下鉄東西線。建築工事も最盛期を迎え、駅舎もだいぶ仕上がりが見えてきました。開業に向けて準備が進む現在の様子をお伝えします。

### 建設工事も大詰め

平成18年に着手した東西線建設工事は、現在、12月6日の開業目標日に向け、レールの敷設や、駅舎の建築・設備工事、電気設備工事などが急ピッチで進められています。

また、全15編成60両製造される車両は、すでに5編成（20両）が荒井車両基地に搬入され、夏頃までには全車両がそろそろ予定です。

### 本線を使つての車両試験や運転訓練もスタート

今月下旬には、東西線のレールや、磁力で走行するためのリアクションプレートの設置などが完了予定。その後、電気設備工事の完了を経て、本線を使つての車両試験が始まる予定です。

また、夏頃から、東西線で働く職員の運転訓練や駅務訓練が始まります。



交通局ホームページ <http://www.kotsu.city.sendai.jp/> や、地下鉄東西線フェイスブックページ <http://s://www.facebook.com/touzaisein/> では、工事の進捗状況や、車両や駅舎に関するミニ情報などを随時配信しています。

### 沿線の魅力発信で開業を盛り上げます！



WEプロジェクト実行委員会委員長・清水勝敏さん

昨年3月に立ち上げた「仙台市地下鉄東西線WE」は、市民参加型のプロジェクトです。東西線開業を契機に、仙台の新しい魅力をつくり出し、広めていく活動に取り組んでいます。

その一つが「WE SCHOOL」。市民の力で仙台を面白くしていく人材を育成する試みで、78人の受講生が半年間にわたり、まちづくりに関するプロジェクトの立ち上げ方からその運営方法までを実践的に学んでいきます。3月に開催する発表会で提案される企画や、その後のさまざまな場所での活躍が、今から楽しみです。

これからの仙台を担っていく方々がたくさん参加しているWEプロジェクトの活動に、ぜひご期待・ご参加ください！

1月13日(火)に、市民目線で東西線を盛り上げる「WE」が動き出す、仙台が動き出す。仙台市地下鉄東西線WE市民ミーティングを開催します。詳しくは16ページをご覧ください